

保健だより 4月号



徳島北高校 平成30年4月26日

入学・進級おめでとうございます。この保健だよりを通して、みなさんにいろいろな健康情報を伝えていきたいと考えていますので、ぜひ読んでくださいね。

***** 麻疹(はしか)に注意!! *****

3月末から沖縄県において麻疹患者の届出が増加しています。麻疹は感染力が強く、今後広範な地域において麻疹患者が発生するおそれがあります。自分の予防接種歴を確認するとともに、注意しましょう。

【麻疹とは?】

病原体: 麻疹ウイルス

潜伏期間: 主に8-12日(7-18日)

感染経路: 空気感染、飛沫感染、接触感染

※麻疹の感染力は強く、空気中を漂うウイルス粒子を吸い込むだけでも感染が成立する(空気感染)。

感染期間: 感染期間は発熱出現前日から解熱後3日を経過するまで。感染力が最も強いのは、発熱出現前の数日間(咳や鼻水、眼球結膜の充血等が見られるカタル期)。

症状:

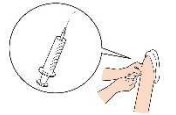
- ①カタル期: 4~5日間、38℃台の発熱、せき、のどの痛み、鼻水、めやに、目の充血などの症状が続く。その後、口の中の粘膜に白いぶつぶつ(コプリック斑)ができるが、数日で消える。
- ②発疹期: 熱がいったん下がりがけるが、再び高熱が出て、赤い発疹(赤いぶつぶつ)が出始める。発疹は身体全体に広がる。
- ③回復期: 発熱はおさまり、発疹は色素沈着を残して消退する。



治療: 一般的には有効な治療薬はなく、発熱やせきなどの症状をやわらげる対処療法が行われる。

予防方法: 予防接種。麻疹を確実に予防するためには、1歳以上で2回の予防接種が必要。未接種あるいは1回接種、接種歴不明の場合、患者との接触後、72時間以内であればワクチンにて発症の阻止、症状の軽減が期待できる。

出席停止期間: 発熱が解熱した後3日を経過するまで。



※医療機関で「麻疹または麻疹の疑い」と診断された場合は、すぐに学校へ連絡をしてください。学校における麻疹の流行を防ぐために、1名でも発生すればすぐに対応しなければなりません。

参考: 日本学校保健会「学校において予防すべき感染症の解説」平成30年3月発行

教育相談室より
お知らせ

カウンセリングデー

★毎週水曜日(昼休みと放課後) 教育相談室にて



ほっと一息。相談室より

みなさん、こんにちは。今年も教育相談室からのお知らせや耳寄りな情報を毎月掲載しますので、是非ご一読くださいね。

新しいクラスには慣れましたか? 毎日が疲れる~。しんどい~。と感じている人もきっと多いと思います。そんな時、カウンセリングデーを利用してください。今月は毎週水曜日のお昼休みと放課後です。管理棟1階の教育相談室に来てみてください。予約は不要です。秘密にしておいて欲しい内容は守られますので気軽にどうぞ。